

官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

内閣

一 運輸通信省官制

一 通信院官制

一 海員審判所職員定員及任用令

外六勅令中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラ

レムコトヲ請フ

昭和十八年十月二十一日

内閣總理大臣 東條英機

五三
五五

勅令第

號

運輸通信省官制

第一條 運輸通信大臣ハ陸運（自動車製造事業ヲ除ク）、水運、港灣、倉庫營業、航空（航空機製造事業ヲ除ク）及氣象ニ關スル事務ヲ管理ス

運輸通信大臣ハ通信院ヲ管理ス

第二條 大臣官房ニ於テハ通則ニ掲グルモノノ外所管行政ノ考査一般、所管防衛業務ノ總括及氣象（海運總局ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク）ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條 運輸通信省ニ左ノ二總局及四局ヲ置ク

企畫局

鐵道總局

海運總局

自動車局

港灣局

航空局

鐵道總局ニ長官官房並ニ總務局、業務局、施設局及資材局ヲ置

ク

海運總局ニ長官官房並ニ總務局、海運局、船舶局及船員局ヲ置

ク

自動車局ニ運輸三信大臣ノ定ムル所ニ依リ部又ハ部及課ヲ置ク

コトヲ得

航空局ニ監理部及乗員部ヲ置ク其ノ分掌事務ハ運輸三信大臣之ヲ定ム

第四條 企畫局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 運輸ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ

關スル事項

二 内地ニ於ケル運輸ト内地以外ノ地域ニ於ケル運輸トノ連絡

ニ關スル事項

第五條 鐵道總局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國有鐵道及其ノ附帶事業ニ關スル事項

二 國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ業務ニ關スル事項

三 地方鐵道、專用鐵道及軌道ニ關スル事項

四 國有鐵道其ノ他ノ陸運及國有鐵道ニ關聯スル船舶ノ要員ニ關スル事項

五 帝國鐵道會計ノ經費及諸收入ノ豫算、決算並ニ會計及其ノ監査ニ關スル事項

六 帝國鐵道會計ノ國有財產及物品竝ニ所要電力ニ關スル事項

七 鐵道及軌道ノ用ニ供スル車輛其ノ他ノ機械器具ニ關スル事項

八 倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル事項

第六條 海運總局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 船舶、造船、船員、航路標識其ノ他ノ水運ニ關スル事項

二 港灣ノ運營ニ關スル事項

三 航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ關スル事項

四 臨港倉庫ニ係ル倉庫營業ニ關スル事項

第七條 自動車局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國有公道ニ關聯スル國營自動車及其ノ附帶事業ニ關スル事項

二 自動車交通事業、小運送業其ノ他ノ陸運（鐵道及軌道ヲ除ク）ノ營業ニ關スル事項

三 自動車其ノ他ノ陸運（鐵道及軌道ヲ除ク）ノ用ニ供スル機械器具ニ關スル事項

第八條 港灣局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 港灣ノ建設、保存及管理ニ關スル事項

二 港灣内ノ公有水面ニ關スル事項

第九條 航空局ニ於テハ航空ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條 運輸通信省ニ海運總局參與十五人以内ヲ置キ海運總局ノ局務ニ參與セシム

海運總局參與ハ運輸通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル海運總局參與ノ任明ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任明中ノ之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

海運總局參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲニスル者ニ付ハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第十一條 運輸通信省ニ航空ニ關スル特別ノ事項ヲ調査セシムル

爲航空局委員ヲ置クコトヲ得

航空局委員ハ運輸通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

航空局委員ハ當該特別ノ事項ニ關スル調査終了シタルトキハ退任ス

第十二條 運輸通信大臣ハ施設ノ建設、改良又ハ保存ニ關スル事務ヲ取扱ハシムル爲必要アリト認ムルトキハ地方官署ヲ置クコトヲ得

第十三條 海運總局ニ横濱出張所ヲ置キ航路標識用品ノ試験、製造、修繕、調達及配給ニ關スル事項ヲ掌ラシム

横濱出張所長ハ理事官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第十四條 航空局ニ航空試験所ヲ置キ航空機、航空機用器材及航空用設備ノ検査及試験ニ關スル事務ヲ掌ラシム

運輸通信大臣ハ必要ト認ムル地ニ航空試験所ノ出張所ヲ設ケ航空試験所ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

運輸通信大臣ハ必要ト認ムル地ニ航空局ノ支局ヲ置キ航空機ノ運輸ノ監督、航空保安施設ノ運用及飛行場ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

航空試験所長、航空試験所出張所長及航空局支局長ハ航空官ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 地方ニ左ノ九鐵道局ヲ置ク

東京鐵道局

名古屋鐵道局

大阪鐵道局

廣島鐵道局

門司鐵道局

新潟鐵道局

仙臺鐵道局

札幌鐵道局

樺太鐵道局

鐵道局ノ位置及管轄區域ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第十六條 鐵道局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國有鐵道ノ現業事務、國有鐵道ニ關聯スル國營自動車及國營船舶ノ現業事務並ニ其ノ附帶事業ノ現業事務ニ關スル事項

二 運輸通信大臣ノ指定スル施設ノ建設又ハ改良ニ關スル事項

三 地方鐵道、軌道、自動車交通事業、小運送業其ノ他ノ陸運ノ業務ノ監督ニ關スル事項

四 倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ノ監督ニ關スル事項

第十七條 運輸通信大臣、鐵道局ノ事務ヲ取扱ハシムル爲地方官署ヲ置クコトヲ得

第十八條 運輸通信省ニ鐵道監督專任二十六人ヲ置ク

鐵道監督ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國

營船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル總務ヲ掌理ス

第十九條 鐵道總局ノ各局長、自動車局長及自動車局ノ各部長ハ鐵道監督ノ中ヨリ之ヲ補ス

第二十條 各鐵道局ニ局長一人ヲ置キ鐵道監督（樺太鐵道局ニ在リテハ鐵道官）ノ中ヨリ之ヲ補ス運輸通信大臣ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第二十一條 運輸通信省ニ航空局監督部長及航空局乘員部長ヲ置ク

各部長ハ勅任トス

第二十二條 運輸通信書記官ハ專任二十一人ヲ以テ定員トス

第二十三條 運輸通信省ニ事務官專任十七人及理事官專任六人ヲ置ク

事務官及理事官ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第二十四條 運輸通信省ニ鐵道官專任千九十九人ヲ置ク

鐵道官ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國營船舶及倉庫營業ハ臨港倉庫ニ係ルモノヲ除クニ關スル應務ヲ掌ル

鐵道官ニシテ文官任用令第五條ノ規定ニ依リ任用スル者以外ノモノノ員數ハ鐵道官ノ定員ノ十分ノ九ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十五條 運輸通信省ニ海務官專任五人ヲ置ク

海務官ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ海運、造船又ハ船員ノ教育、

養成若ハ勞務管理ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十六條 運輸通信省ニ航空官專任三十八人ヲ置ク

航空官ハ奏任トス但シ内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

航空官ハ上官ノ命ヲ承ケ航空ニ關スル技術又ハ事務ヲ掌ル

第二十七條 運輸通信省ニ調査官專任二人ヲ置ク

調査官ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ調査ヲ掌ル

第二十八條 運輸通信省ニ技師專任十三人ヲ置ク

技師ハ奏任トス但シ内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第二十九條 運輸通信省ニ標識技師專任三人ヲ置ク

標識技師ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用竝ニ

航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ヲ掌ル

第三十條 運輸通信屬ハ專任二百二十九人ヲ以テ定員トス

第三十一條 運輸通信省ニ鐵道官補專任四萬二千二百三十九人ヲ置ク

鐵道官補ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國營船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル總務ニ從事ス

第三十二條 運輸通信省ニ技手專任百六人ヲ置ク

技手ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第三十三條 運輸通信省ニ標識技手專任五百人ヲ置ク
標識技手ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用並

ニ航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ從事ス

第一項ニ規定スルモノノ外運輸通信大臣必要アリト認ムルトキ

ハ標識技手俸給豫算定額内ニ於テ豫算員トシテ標識技手二十人以内ヲ置クコトヲ得

前項ノ標識技手ハ海運總局ノ事務ニ臨時從事セシムルコトヲ得

第三十四條 運輸通信省ニ鐵道手ヲ置ク其ノ定員ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

鐵道手ハ判任官ノ待遇トス上官ノ指揮ヲ承ケ陸運、國有鐵道ニ關聯スル國營船舶及倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル總務ニ從事ス

第三十五條 第三十八條乃至前條ノ職員ノ外海運總局又ハ航路局ノ

事務ヲ掌ラシムル爲運輸通信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ海運總局事務官又ハ航空局事務官ヲ命ズルコトヲ得

第三十六條 航路標識ノ種別、名稱及位置ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第三十七條 海運總局長官ハ船員ノ教育及養成ニシテ海軍豫備員候補者トシテ必要ナル事項立ニ船舶保護法ノ施行ニ關スル事項ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮監督ヲ受ク

第三十八條 航空局長ハ航空機職員及航空ニ伴フ施設ニ關スル事項中軍事ニ關係アルモノニ關シテハ陸軍大臣及海軍大臣ノ指揮監督ヲモ承ク

第三十九條 運輸通信大臣ハ航空ニ關スル事務ニ關シ必要ニ應ジ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ對シ其ノ管理ニ關スル人馬、艦船、航空機、器材等ノ使用ヲ請求スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

遞信省官制、海務院官制、航空局官制及鐵道省官制ハ之ヲ廢止ス
本令施行ノ際現ニ海務院、航空局又ハ鐵道省ノ職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ鐵道省ハ鐵道監ニ、海務院書記官及航空局書記官ハ運輸通信書記官ニ、鐵道省ハ鐵道官ニ、海務院海務官ハ運輸通信省海務官ニ、航空局航空官ハ運輸通信省航空官ニ、海務院事務官ハ航空局事務官ハ運輸通信理事官ニ、海務院技

師及航空局技師ハ運輸通信技師ニ、海務院標識技師ハ運輸通信省
標識技師ニ、海務院屬及航空局屬ハ運輸通信屬ニ、鐵道省補ハ鐵
道官補ニ、海務院技手及航空局技手ハ運輸通信技手ニ、海務院標
識技手ハ運輸通信省標識技手ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモ
ノトス
本令施行ノ際現ニ鐵道省鐵道手タル者別ニ辭令ヲ發セラレザルト
キハ運輸通信省鐵道手ニ任ゼラレタルモノトス
本令施行ノ際現ニ海務院、航空局又ハ鐵道省ノ職員ニシテ休職中
ノモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘第三項ノ例ニ依リ
運輸通信省職員ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

勅令第

號

通信院官制

第一條 通信院ハ運輸通信大臣ノ管理ニ屬シ郵便、電氣通信、
郵便爲替、郵便貯金、簡易生命保險、郵便年金及此等ノ附帶
業務並ニ年金恩給ノ支給其ノ他國庫金ノ受入拂渡ニ關スル事
務ヲ掌ル

第二條 通信院ニ總裁官房及左ノ五局ヲ置ク

總務局

業務局

工務局

通信監督局

貯金保険局

第三條 總裁官房ニ於テハ人事、文書及行政考査ニ關スル事務
並ニ他ノ主管ニ屬セザル事務ヲ掌ル

第四條 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 所管行政ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合
調整ニ關スル事項

二 豫算、決算並ニ會計及其ノ監査ニ關スル事項

三 國有財産及物品ニ關スル事項

四 従事員ノ給與、厚生及養成ニ關スル事項

五 遞信博物館ニ關スル事項

第五條 業務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便及其ノ附帶業務ニ關スル事項

二 電氣通信及其ノ附帶業務ニ關スル事項

三 國際電氣通信株式會社ニ關スル事項

第六條 工務局ニ於テハ通信施設ノ建設及保存ニ關スル事務ヲ
掌ル

第七條 通信監督局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便及電氣通信ノ檢閲ニ關スル事項

二 電波ノ監視ニ關スル事項

第八條 貯金保険局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 郵便爲替、郵便貯金及此等ノ附帶業務ニ關スル事項

二 簡易生命保險、郵便年金及此等ノ附帶業務ニ關スル事項

三年金恩給ノ支給其ノ他國庫金ノ受入拂渡ニ關スル事項

第九條 通信院ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁	勅任
局長	五人 勅任
書記官	專任二十九人 奏任
事務官	專任九十一人 奏任
檢閱官	專任十人 奏任
官吏練習所教官	專任二十二 十九人 三人 奏任
技師	專任八十九人 奏任 内五人ヲ勅任ト 爲スコトヲ得
屬	專任五千三百四十六人 判任
檢閱官補	專任五十三人 判任

技手 專任三百一人 判任

屬補 專任五千七百五十一人 判任

總裁ニハ親任官ノ待遇ヲ賜フコトヲ得

第十條 前條第一項ノ職員ノ外通信院ニ遞信手ヲ置ク判任官ノ待遇トス

第十一條 總裁ハ運輸通信大臣ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ統理シ所部ノ職員ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第十二條 局長ハ總裁ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十三條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十四條 檢閱官ハ上官ノ命ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ檢閱又ハ電波ノ監視ニ關スルコトヲ掌ル

第十五條 官吏練習所教官ハ上官ノ命ヲ承ケ養成ヲ掌ル

第十六條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十七條 屬及屬補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第十八條 檢閲官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ郵便若ハ電氣通信ノ檢

閲又ハ電波ノ監視ニ關スルコトニ従事ス

第十九條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第二十條 遞信手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務又ハ技術ニ従事ス

第十條及前項ニ規定スルモノノ外遞信手ニ關スル規程ハ總裁
之ヲ定ム

第二十一條 通信院ニ官吏練習所ヲ置キ通信官吏又ハ通信官吏
タルベキ者ノ養成ヲ掌ラシム

官吏練習所長ハ書記官ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條 通信院ニ海底線工事事務所ヲ置キ海底線ノ布設及
保存工事ヲ掌ラシム

海底線工事事務所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十三條 總裁ハ必要ト認ムル地ニ電氣通信建設事務所ヲ置
キ電氣通信施設ノ建設ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

電氣通信建設事務所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十四條 總裁ハ必要ト認ムル地ニ貯金保險局ノ支局ヲ置キ
貯金保險局ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

支局長ハ書記官、事務官又ハ屬ヲ以テ之ニ充ツ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

貯金局官制及簡易保険局官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ左表ノ上欄ニ掲ゲル職ニ在ル者（遞信省電氣局ニ屬スル者ヲ除ク）別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲ゲル官ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

遞信書記官	通信院書記官
遞信監察官	通信院書記官
遞信省事務官	通信院事務官
遞信省檢閲官	通信院檢閲官
遞信官吏練習所教官	通信院官吏練習所教官
遞信技師	通信院技師

遞信屬	通信院屬
遞信省檢閲官補	通信院檢閲官補
遞信技手	通信院技手
貯金局書記官	通信院書記官
貯金局事務官	通信院事務官
貯金局書記	通信院屬
貯金局技手	通信院技手
貯金局書記補	通信院屬補
簡易保険局書記官	通信院書記官
簡易保険局事務官	通信院事務官
簡易保険局技師	通信院技師

簡易保險局書記	通信院屬
簡易保險局技手	通信院技手
簡易保險局書記補	通信院屬補

本令施行ノ際現ニ前項ノ表ノ上欄ニ掲グル職員ニシテ休職中ノモノ（休職ノ際遞信省電氣局ニ屬シタル者ヲ除ク）別ニ辭令ヲ發セラレザルトハ休職ノ儘各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

勅令第 號

第一條 海員審判所職員定員及任用令中左ノ通改正ス

第三條第一項中「海務院高等官」ヲ「運輸通信省高等官」ニ改ム

同條第二項及第三項中「遞信部内」ヲ「運輸通信部内」ニ改ム

同條第四項中「海務院屬」ヲ「運輸通信屬」ニ改ム

第四條第一項中「海務局高等官」ヲ「海運局高等官」ニ、「海務局長」ヲ「海運局長」ニ改ム

同條第二項及第三項中「遞信部内」ヲ「運輸通信部内」ニ改ム

同條第四項中「海務局事務官補」ヲ「海運局事務官補」ニ改ム

第五條中「遞信部内」ヲ「運輸通信部内」ニ改ム

第二條 奏任文官特別任用令中左ノ通改正ス

第一條中「海務局港務官」ヲ「海運局港務官」ニ、「農林省物價事務官及物價局物價事務官」ヲ「農商省物價事務官」ニ

改ム

第三條 昭和十六年勅令第千五百五十四號中左ノ通改正ス

「海務院海務官」ヲ「運輸通信省調査官、運輸通信省海務官」ニ、「海務局海務官」ヲ「海運局海務官」ニ、「海務局港務官」ヲ「海運局港務官」ニ、「海務局海務官補」ヲ「海運局海務官補」ヲ「海運局

海務官補」ニ、「海務局港務官補」ヲ「海運局港務官補」ニ

改ム

第四條 昭和十六年勅令第千五百五十七號中左ノ通改正ス

「遞信大臣」ヲ「運輸通信大臣」ニ改ム

第五條 昭和十七年勅令第百五十九號中左ノ通改正ス

「遞信大臣」ヲ「運輸通信大臣」ニ改ム

第六條 昭和十七年勅令第百六十九號中左ノ通改正ス

第一條中「海務院及海務局」ヲ「運輸通信省海運總局、海運局及都廳府縣」ニ、「長廿五ノートル未満ノ船舶」ヲ「前號ノ鋼船以外ノ船舶」ニ改ム

第二條中「海務院又ハ海務局」ヲ「運輸通信省海運總局、海

運局又ハ都廳府縣」ニ改ム

第三條中「海務院又ハ海務局」ヲ「運輸通信省海運總局、海運局又ハ都廳府縣」ニ、「海務院長官又ハ海務局長」ヲ「運輸通信省海運總局長官、海運局長又ハ地方長官」ニ改ム

第七條 昭和十八年勅令第六百三十一號中左ノ通改正ス

「遞信省檢閱官」ヲ「通信院檢閱官」ニ、「遞信省檢閱官補」ヲ「通信院檢閱官補」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

御 覽

目下樞密院ニ御諮詢中ノ通信院官制中左記ノ通訂正致度

記

第九條第二項中「賜」ヲ「得」ヲ「賜」ヲ「得」ト訂正